

# 平成30年度 国分寺中学校区 小中一貫教育全体構想図

## 国分寺中学校区の目指す子ども像 ○学び合い高め合う子ども ○主体的に人や社会に関わる子ども

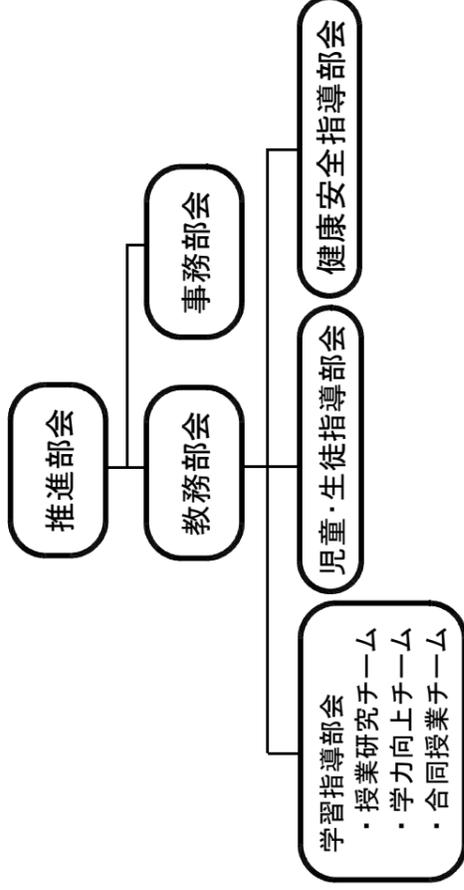
### 下野市学校教育目標

- 1 自主的に学び、主体的に問題を解決しようとする子どもを育てる。
- 2 豊かな情操と道徳性を備え、礼儀正しい子どもを育てる。
- 3 自他の生命・人権を尊重し、強い意志と健康な身体をもつ子どもを育てる。
- 4 勤労・奉仕の精神を理解し、すすんで社会のためにつくそうとする子どもを育てる。
- 5 郷土の文化と伝統・自然に誇りをもち、自信をもって（国際）社会で活躍できる資質を備えた子どもを育てる。

### 下野市小中一貫教育の方針

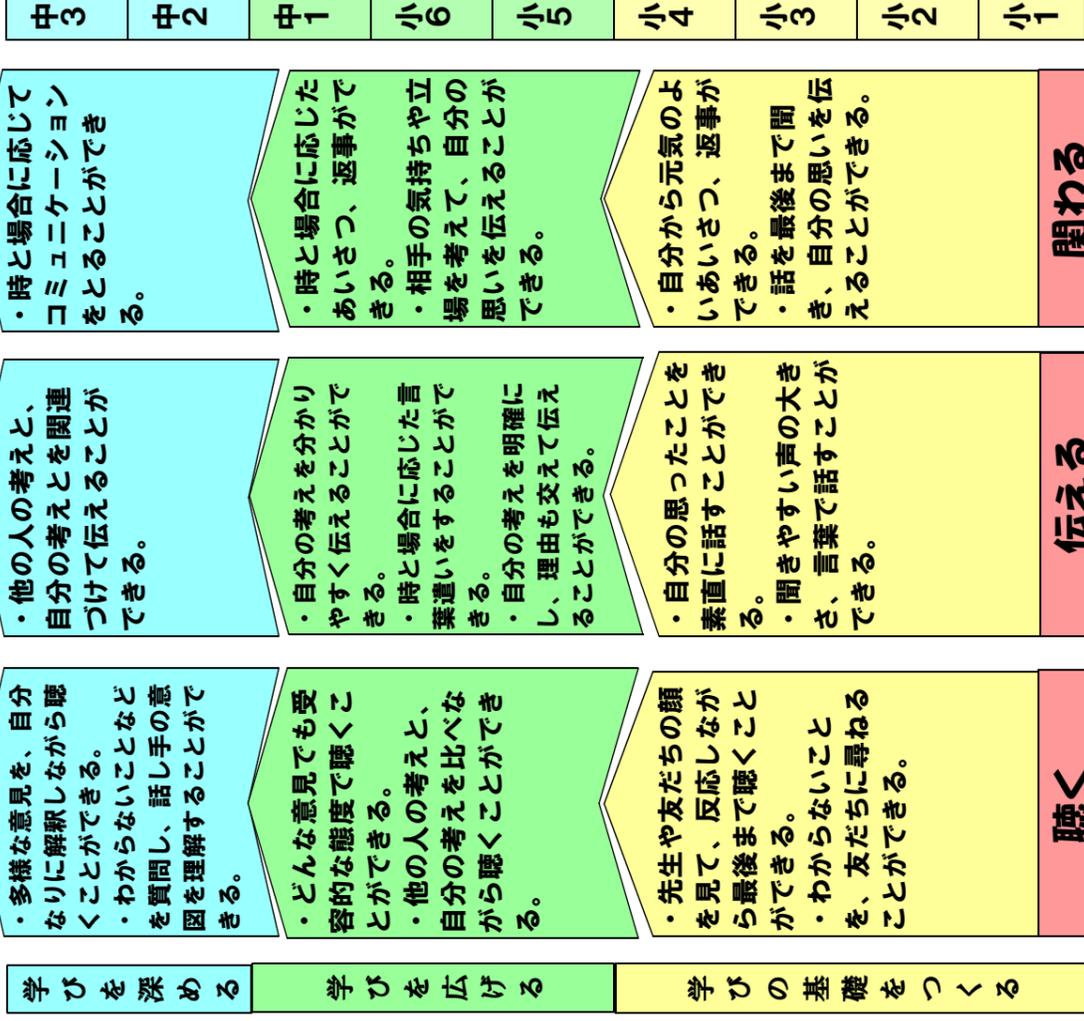
- ・ 9年間の学びをつなぎ、確かな学力、健やかな身体の育成、豊かな心の育成を保証します。
- ・ 9年間の一貫した児童生徒理解により、子どもたちが安心して学べる場を提供します。
- ・ 郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育てる教育活動を推進します。
- ・ 「学校運営協議会」の導入により、地域とともにある学校づくりを推進します。

### 国分寺中学校区小中一貫教育実践研究組織



### 学区各校 在籍児童・生徒数 平成30年5月現在

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年	計
国分寺小	108	85	97	114	91	101				596
国分寺西小	10	5	0	8	3	8				34
国分寺東小	52	52	55	37	49	56				301
国分寺中							134	159	167	460
計	170	142	152	159	143	165	134	159	167	1391



安心感をもって学び合える学級  
心身共に健康で自分を大切に子ども

児童生徒のようす  
 明朗で礼儀正しく、落ち着いた態度で学校生活を送っている。特に、学習に対する意欲が高く、学習課題について、協力し考えを深める姿勢が身に付いている。また、合唱や清掃の交流、小学生の中学校での体験授業など、定期的に小中の交流を行うことで、相互の信頼感を高め、個々の自信や将来の意欲につながっている。

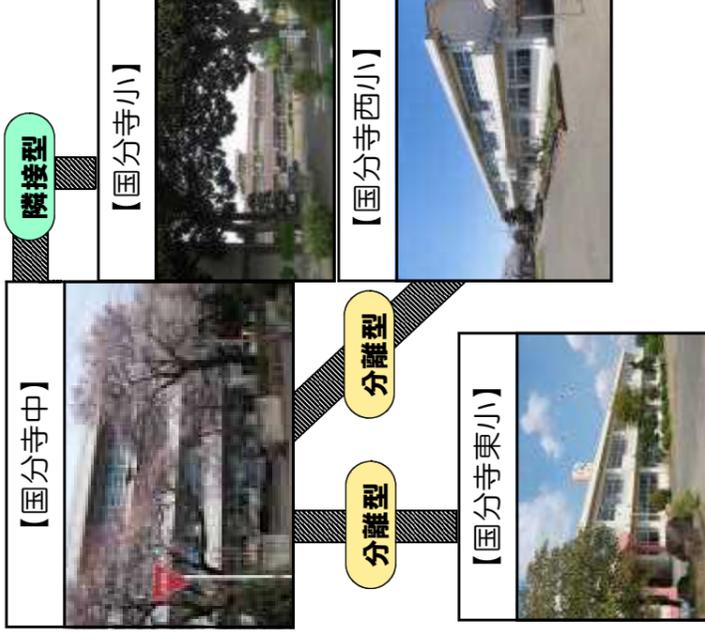
### 地域のようす

JR宇都宮線小金井駅を最寄りの駅とし、交通の要所である国道4号線を中心線として、東西に開けた自然豊かな地域である。また、旧来より日光街道の宿場町として栄え、下野国分寺跡や国分尼寺跡などの文化遺産を有する歴史と伝統ある地域である。保護者や地域住民は学校の教育活動に理解があり、協力的である。

### 【合唱交流】 【清掃交流】 【体験授業】



### <国分寺中学校区> 施設隣接型および 分離型小中一貫教育



# 国分寺中学校区

【目指す子ども像】

学び合い高め合う子ども 主体的に人や社会に関わる子ども

【重点項目】

基礎学力の定着、学力の向上

小中9年間を通して、教育内容や学習活動を充実し、社会性を育成するため、学習指導部会、児童生徒指導部会、健康安全指導部会の3つの部会を組織した。学習指導部会では、学力向上チーム、授業研究チーム、合同授業チームの3つのチームに分けて取り組んだ。それぞれの部会の視点から、児童生徒の実態を共有し、小中学校のつながりを意識した効果的な指導法について協議した。

## 各部会の取組

### <学習指導部会 合同授業チーム>

【児童生徒の実態】

小規模校である国分寺西小と大規模校である国分寺小が統合するにあたり、互いに不安感がある。

【部会のねらい】

平成31年度の国分寺小と国分寺西小の再編に向けて、計画的に連携教育活動を進める。両校の児童が合同での授業を実施することにより、相互理解を深め、望ましい人間関係づくりを目指す。

【部会の取組】

視点	取組の具体(P・D)	成果
<C> 教職員間の 連続・協働	・7月と1、2月に実施する合同授業に向けて、交流の準備や共同授業作りを行う。 ・スカイプによる交流活動の研究、実践を行う。	・年2回の「スカイプ交流」「合同授業」のための事前準備の時間をもつことができ、入念な準備を行うことで当日の活動がスムーズに行えた。
<D> 家庭・地域との 連携・協力	・7月と1、2月に実施する合同授業を保護者にも公開することで、理解、啓発に努める。	・保護者から、「合同授業」を参観することで、国小の校内の様子、我が子の大人数の中での活動の様子を知ることができてよかった、という声を多くいただいた。

### <学習指導部会 学力向上チーム>

【児童生徒の実態】

とちぎっ子学習状況調査より、文章題や式を工夫して解くような問題の正答率が県の平均よりも低い傾向にある。また、中学校に入学して文字式が出てきたときにつまづく生徒も少なくない。和や差、積等の計算はできるが、それを活用できていない実態がある。

【部会のねらい】

重点教科「算数・数学」を設定し、児童生徒のとちぎっ子学習状況調査での学力分析からつまづきを発見し、小中学校のつながりを意識した効果的な指導法について提案を行う。30年度は、「式の意味をイメージや体験と結びつけて理解させる」ことをねらいとして9年間を見通した授業改善の取り組みを提案していく。

【部会の取組】

視点	取組の具体(P・D)	成果	課題
<B> 教育活動の 連続性の確保	・算数・数学において9年間の学習内容のつながりを意識して重点項目「式の意味を理解させ、イメージや体験とつなげていく」についてのカリキュラムを作成する。	・算数・数学科において、9年間を通してできるようにさせたい項目を重点項目としてチェック表を作成した。	・重点項目を表にしたものを来年度は先生方に使ってもらえるように工夫をする必要がある。 ・具体的に指導法を提案し(指導案等)、授業研究部とも協力して、指導の実践と生徒の学力の向上を目指す。
<C> 教職員間の 連続・協働	・とちぎっ子学習状況調査の結果を分析し、つまづきを見つける。 ・小中での算数・数学の学習のつながりを意識した効果的な指導法を考え、提案する。	・とちぎっ子学習状況調査の結果から算数・数学に関して正答率の低かったものを見だし、小中ともに共通して指導していきたい部分を話し合った。 ・小中での先生方で協働することができ、お互いを知ることができた。	・算数・数学科だけでなく、中学校の他教科についても検討していきたい。

### <学習指導部会 授業研究チーム>

【児童生徒(教職員)の実態】

小中交流活動時に一部の生徒と児童が関わるが、活動以外では関わりが少ない。教職員も、交流するのは数名で、他の教職員は関わりが少ない。日常的に行われている授業の様子を見たことのない教職員も多い。

【部会のねらい】

授業研究を通して、お互いの児童・生徒の実態や、指導の様子、授業の様子を共感的に理解することで、小中一貫教育の推進を図る。

【部会の取組】

視点	取組の具体(P・D)	成果	課題
<C> 教職員間の 連続・協働	・小中学校の授業のビデオを参観し、「伝える」「聴く」「学び合う」を視点に話し合う。	・小学校低・中・高学年及び中学校の授業の計4つの授業ビデオを基に話し合ったことで、自分が思っていたイメージとのずれに気付くことができた。また、小中教員が話し合うことで、より互いを知り合うことができた。	・授業選定やビデオ視聴箇所の選定、資料の準備等、多くの時間を要すること。ビデオでの参観なので限界があること。ビデオ提供者への心理的負担など。

## <児童生徒指導部会>

### 【児童生徒の実態】

基本的な生活習慣はほぼ出来ている児童・生徒が多い。  
場に応じた行動や、相手の気持ちを考えた行動をとれる児童・生徒もいるが、全体的に考え方や行動がやや幼い傾向がある。

### 【部会のねらい】

発達段階に応じたあいさつ・返事の仕方や、お互いの話の聞き方、伝え方を指導し、コミュニケーション力や情報収集力・活用力・発信力を育成

### 【部会の取組】

視 点	取組の具体(P・D)	成果	課題
<A> 教育課程の 工夫改善	その他小中交流活動(あいさつ運動、中学生の行事参加、小学生の部活動見学など)	・合唱交流や中学生の運動会参加などの交流活動ができた。また、来年度へ向けて、実現可能な活動を検討し、小学生の部活動体験と中学生によるあいさつ運動を計画した。	・新たな交流活動を実施するには他の行事との調整が必要不可欠である。小学生の部活動体験は東小児童の交通手段が問題である。市バスを利用できればと考えている。
<B> 教育活動の 連続性の確保	子ども未来プロジェクトの活動	・異学年との交流はコミュニケーション力を育成するよい機会となった。小学校では高学年を中心に良い刺激を受けた。中学生は自分たちの清掃活動を見直す機会になった。	・清掃交流が1回のみのため、小学生の清掃に対する考え方を变化させるだけの効果は得られなかった。また関わりが一部の生徒になっているので、関われる生徒を増やしたい。
<C> 教職員間の 連続・協働	子ども未来プロジェクトの内容検討・見直し	・具体的な活動内容(中学生の清掃の様子を上映・中学生と一緒に清掃)について、事前に教員間で打ち合わせを行うことができた。	・来年度も清掃を通しての交流を考えている。交流活動の回数を増やした方が良いという意見もあるが、生徒が主体となって計画・活動を行うため、時間の確保が難しい。
<D> 家庭・地域との 連携・協力	学校だよりなどによる家庭への情報発信	・合唱交流や、中学生の行事参加などを学校だよりで紹介することができた。また、各学校に他校の学校だよりが掲示されており、学校間でも取り組みを共有することができた。	・次年度以降も続けていきたい。

## <健康安全指導部会>

### 【児童生徒の実態】

早寝・早起き・朝ごはん等の基本的な生活習慣については家庭での差はあるものの、おおむね落ち着いた環境である。一方で、自己肯定感が低い児童生徒、健康管理の面で他律的な児童生徒も少なくない。

### 【部会のねらい】

発達段階に応じた「早寝・早起き・朝ごはん」を軸に健康教育を推進し、自分の心と体を大切にしたい意欲と行動力を育む。  
配慮を要する児童生徒について、細やかな情報の共有をするとともに、その子に応じた支援を検討し、適切な対応につなげる。(中一ギャップ対応)

### 【部会の取組】

視 点	取組の具体(P・D)	成果	課題
<A> 教育課程の 工夫改善	・生活習慣に関する指導を学級活動年間計画に位置付ける。	・保健教育における内容ごとに年計に位置付けた。	・計画した時期と実施がずれてしまった。
<B> 教育活動の 連続性の確保	・地域学校保健委員会の発足に向けて会則等を整備する。 ・中学校区の取り組みを保健便りに掲載する。 ・地域学校保健委員会については、前校長に伝えて協力を仰ぐ。	・保健便りにおいて、小中が共に強調して保護者に伝えたい内容を「ゆうゆうコーナー」で発信し、効果的であった。	・地域学校保健委員会発足については、今年度取り組んでいる各学校保健委員会を充実させてから、再検討する。
<C> 教職員間の 連続・協働	・保健室来室状況・欠席状況・家庭の養育状況について情報を共有する。 ・不適応傾向の児童については、綿密に情報を共有し、中学校進学に向けて適切な支援について検討し関わりをつなげる。 ・栄養教諭と連携を図り、生活習慣に関するアンケートや	・不適応傾向児童生徒については、家庭の状況や小学校時の様子等を共有することで児童生徒の理解が深まった。 ・栄養教諭が部員であり、健康教育と食育をリンクさせながら指導が展開できた。	・各方面からのアンケート調査を可能な範囲で統一化したり、アンケート結果を効果的な指導につなげるよう教職員に提供する。
<D> 家庭・地域との 連携・協力	・地域学校保健委員会立ち上げに向け、各校の養護教諭が互いの学校保健委員会に参加する。 ・市健康増進課開催の健康講座やアンケート等を活用する。 ・規則正しい生活習慣定着のため、「早寝・早起き・朝ごはん」チェックカードを活用する。	・各校の学校保健委員会に参加し、生活習慣定着に向けての取組や学校医等の助言等を自校の活動に活用するとともに、小中の連続性をより意識できた。 ・外部関係機関を積極的に活用し、保健指導を充実させた。 ・チェックカードを活用することにより、保護者の意識も高まった。	・「自己管理能力を育むため」に、保護者への継続した働きかけが、より必要である。

# 成果と課題

## ◎成果

- ・小中学校の教職員が一堂に会し、各テーマについて意見を交わしたことで、教職員が互いのことを知ることができた。
- ・各校の情報を共有することで、児童生徒の実態を具体的に知ることができた。
- ・小中学校のつながりを意識した効果的な指導法を考え、年間指導計画を見直し、重点項目チェック表を作成した。

## ●課題

- ・互いを知ることや実態の把握、方法の検討に時間がかかり、実践の改善までは十分に行えなかった。
- ・今年度作成した計画やチェック表を活用し、弱点を克服したりつまずきを解消したりする。

## 学力向上チーム

### 下野市学力向上重点項目(国分寺中学区) 算数・数学科 重点項目チェック表

重点項目	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
式の意味、和の意味を押さえる。	1位数の加法、減法、加減の場面を式に表す	2位数の加法、減法、乗法の場面を式に表す	整数の加減乗除	小数、分数の加法、減法	異分母分数の加法減法	分数、小数の混合計算	正負の数、文字式、一次方程式	単項式と多項式、連立方程式	式の展開、因数分解
「=」をそろえる。	加法、減法	加法、減法、乗法	整数の加法、減法、乗法	整数の四則	簡単な比例の関係			文字を用いた式に表すこと、方程式、連立方程式、二次方程式	
言葉の理解(意味の定着)「どれだけ多い」「残りはいくら」	加法、減法	加法、減法、乗法	整数の加法、減法	整数の四則	単位量当たりの大きさ			文字を用いた式に表すこと	
「=」の意味(等しい)	加法、減法	加法、減法、乗法			面積	長さ、		文字を用いた式に表すこと、方程式	
言葉の意味を理解させる。	加法、減法	加法、減法、乗法	円、球	垂直、平行	百分率(割合)			全部	
文章の意味が理解できないと計算できない。	加法、減法	加法、減法、乗法				起こりうる場合		全て	
繰り上がり、繰り下がり	2位数の加法、減法	加法、減法	整数の加法、減法、乗法	概数(切り上げ、切り捨て)整数の四則計算	異分母分数の加減	分数、小数の加減	資料のちから(り代表値(有効数字)		標準偏差
算算の位取り、補助計算をしっかりとらせる。		加法、減法	1位数による簡単な除法	整数の除法	小数の乗除(1/10、1/100位)	分数、小数の加減			
位をそろえる。		加法、減法	整数の加法、減法、乗法	整数の四則	小数の乗除	分数の乗除		全て	
問題をイメージさせる。			整数の加法、減法、乗法	整数の四則	百分率(割合)	比例、反比例		どの単元にも利用されている。	
立てる(乗)、掛ける(割と割る数を掛ける)、引く(割られる数から引く)			除法の意味	整数の除法	小数の乗除(除法)				
10進法	100までの数	10000までの数	1億までの数	億、兆					
式の意味(5×6、6×6、答えは同じだが、乗法は違う)		乗法の意味					文字を用いた式	文字式	



合同授業チーム スカイク交流の様子



授業研究グループ 各グループの代表による発表の様子



児童生徒指導部会 先生方の話合いの様子

「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」チェックカード

年 組 番 名前

を休みが終わる、学校が始まりましたが、生活のリズムは取り戻せていますか？生活のリズムが整っていないと、一日中ぼーっとしたり、寝れなくなったりなど体の調子が悪くなってしまいます。毎日元気に過ごせるように、自分の生活と体の様子をおうちのひととチェックしてみましょう。できたら ☺に色をぬりましょう。

	1月 日()	色をついたの数:				
①昨日の寝、寝た時間を書きましょう。						☺ の数:
②今日の朝、起きた時間を書きましょう。						
③朝ごはん、さいろの食べ物(ごはん・パン・シリアルなど)を食べた。	☺	☺	☺	☺	☺	
④朝ごはん、森の食べ物(肉・魚・たまご・大豆などのおかず)を食べた。	☺	☺	☺	☺	☺	
⑤朝ごはん、おどりの食べ物(野菜のおかずやスープ・みそ汁・果物)を食べた。	☺	☺	☺	☺	☺	
⑥好き嫌いしないで、食べることができました。	☺	☺	☺	☺	☺	
⑦朝ごはんは おいしかった。	☺	☺	☺	☺	☺	

健康安全教育部会